

ファイナル・レポート

(日本語抄訳版)



2023年9月5日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

CARAVAN SALON DÜSSELDORF 2023

コミュニティを魅了するメッセ

製品への高い関心と会場内の素晴らしい雰囲気

CARAVAN SALON DÜSSELDORF 2023 は、10 日間の会期を終えて9月3日（日）に閉幕し、キャラバニングという休暇スタイルがさらに多くの人々を魅了し、コミュニティが着実に成長していることを示しました。メッセ会場内は素晴らしい雰囲気に入れられ、熱気のある対話や情報交換が繰り広げられました。「65 か国・25 万 4,000 名が CARAVAN SALON DÜSSELDORF 2023 に来場しました。厳しい状況が続く中、このような成果を収めることができたことを非常に嬉しく思います。全大陸からエキスパート、さらに欧州各国からキャラバンファンたちが来場し、CARAVAN SALON の国際的な雰囲気を演出しました」と、メッセ・デュッセルドルフのメッセ担当専務取締役エアハルト・ヴィーンカンブは述べています。

CARAVAN SALON ディレクターのシュテファン・コシュケはさらに「来場者は私どもの魅力的かつ多彩なイベントプログラムに納得いただけたと自負しています。『StarterWelt』とトレンドテーマである『Abenteuer Selbstausbau/DIY』は、CARAVAN SALON のなかでも中心的な情報のホットスポットでした。Travel & Nature Connected ステージでは世界中のデスティネーションに関するさまざまなプログラムが行われ、ハイキングやアウトドアアクティビティをテーマにお勧めが紹介され、ホール 3 には大きなファンコミュニティも形成されています。」と付け加えます。

37 か国・750 社以上の出展者が、16 のホールと屋外エリアでイノベーションや最新モデルを披露しました。25 万㎡以上のスペースにあらゆるサイズと価格帯のレジャー用車両、モバイルホーム、オーニング・ルーフテントが展示され、アクセサリ、技術装置、拡張部品はキャラバニング愛好者全体に大人気でした。さらに来場者は、キャンプ場やモーターホームサイトまたはデスティネーションが紹介されるブースで次の休暇の計画を練ることができました。

ドイツキャラバン産業工業会（CIVD）の会長として新たに選出されたベルント・レア氏は、第 62 回目 CARAVAN SALON の成果を受け、「多くの来場者、雰囲気の良い会場、類を見ない製品バラエティーデュッセルドルフの CARAVAN SALON が人々に知られ、評価されているのはこれらの点です。厳しい経済状況の

中、これほどよい成果をあげられたことは当然のことではありませんし、キャラバン業界にとって極めてポジティブな刺激となります。CARAVAN SALON は、業界をけん引する見本市であり灯台でもあるとその重要性を示したこととなります。また、厳しい状況下においても製品の品質・多様性という点で新しい基準を作った出展者の皆さんに賛辞を送ります。車両、アクセサリ、サービスにおけるイノベーションを享受できるのが CARAVAN SALON であり、これからもこの特徴は続くでしょう。ただしデュッセルドルフでは、製品だけではなく、キャラバニングのすべての側面が重要な役割を果たしていることを忘れてはなりません。ですから今年、私たちが政財界から多くの方をデュッセルドルフにお迎えできたことを非常に誇りに思います。モナ・ノイバウアー大臣やオリバー・クリッシャー大臣など、影響力を持つ政治家の方がいらっしゃるといことは、観光と経済の要因としてキャラバニングが注目されるべきであると示すこととなります。しかしこれは CIVD の仕事の始まりに過ぎず、私たち新しく選ばれた理事たちは、休暇形態の経済的・観光的なポテンシャルをさらに推進し続けます。」と非常にポジティブに総括しています。

次回・第 63 回 CARAVAN SALON DÜSSELDORF は 2024 年 8 月 31 日から 9 月 8 日（プレビュー：8 月 30 日）にデュッセルドルフで開催されます。

CARAVAN SALON DÜSSELDORF のファイナル・レポート（オリジナル、英語）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp



© Messe Düsseldorf / C. Tillmann

【出展者の声：抜粋】

- ・ 「CARAVAN SALON は弊社に多くの来場者に出会える理想的な機会を提供してくれる。製品への関心は高く、弊社ホールへの来場者は喜ばしいことに大変多かった」(Knaus Tabbert 社、最高販売責任者ゲルト・アダミツキー氏)
- ・ 「CARAVAN SALON は、新モデルシーズンのキックオフであり、キャラバン業界全体にとって重要なムードメーカーでもある。期待をはるかに上回り、大成功の10日間として振り返ることができる」(Hobby社、ホルガー・シュルツ社長)
- ・ 「今年の CARAVAN SALON はキャラバンメーカーの納品力が上がったことが示された。これまでの数年は1~2年待ちが続いていたが、現在は3~12か月での納品が可能になった。製造コストが上がり、車両価格にも反映されているものの、キャラバンバケーションへの関心にはほとんど影響がない。」(Eura Mobile 社・Trigano Deutschland 社、ホルガー・ジーベルト社長)
- ・ 「来場者の多い、雰囲気の良いメッセだった。キャラバンでの旅という形態への関心が途切れることはないようだ。価格が安定し、納期が明らかに短くなったことで、昨年に比べさらにポジティブだった。来場者の価値は品質により重きが置かれ、特にデザイン、機能性、車両装備が重要であるとお客様との対話で明らかになった。世界最大の CARAVAN SALON は弊社にとって依然として最も重要な場であり、販売員、パートナー、お客様、興味のある方が一堂に会し、意見交換ができるプラットフォームだ」(HYMER 社、クリスチャン・パウアー取締役会長)
- ・ 「現状の供給・価格条件から複雑な思いで臨んだメッセだったが、その分、CARAVAN SALON での実際の成果に非常に満足している。来場者の多さやブースでの顧客とのポジティブな対話によってキャラバンというレジャースタイルには依然として高い関心が寄せられていることを再認識した。」(Carthago グループ、営業・マーケティング・顧客サービス担当マネージングダイレクター、ベルント・ヴシャック氏)
- ・ 「昨年あまりよい成果が上げられなかったため、あまり期待せずにデュッセルドルフ入りしたが、ポジティブに驚いた。購買意欲が高く、すでに研究を重ねた上でブース来場したお客様が多く、具体的な商談ができた。特にシトロエンとメルセデスのプラスモデルに多くの関心が寄せられ、メッセのハイライトとなった。成果のあったメッセだった」(Pössl グループ、マーケティング・プレス・製品開発部長、ロバート・ハインツ氏)
- ・ 「CARAVAN SALON は重要なプラットフォーム。実際の使用条件下で製品を紹介することができるため、販売員にもお客様にも好評」(Dometic 社エヴァ・カールソン社長)